

シリーズ

## 自治会存続について考える②



自治会とは「一定の区域に住所を有する者の地縁に基づいて形成された団体」（総務省「自治会・町内会とは」より引用）と定義されています。全国的には「1940年代から1960年代（昭和15年～35年）」あたりまでが自治会発足のピークでした。

今では約80年近い歳月が流れ、自治会の在り方も変化してきているようです。

### 自治会の役割とは？

「住民自治組織に関する世論調査（S43.7.12～S43.7.18）」  
「町内会・自治会等の地域のつながりに関する調査（H19.1.19～H19.2.1）」  
よりそれぞれデータ引用

昭和43年住民自治組織に関する世論調査（内閣府）	平成18年度国民生活モニター調査結果（内閣府）
① 募金（の協力）	① 行事案内、会報配布等の住民相互の連絡
② 市（町村）と住民の連絡	② 市区町村からの情報の連絡
③ 消毒	③ 盆踊り・お祭り
④ 運動会、レクリエーション、旅行	④ 街灯の管理
⑤ 街灯管理	⑤ 行政への陳情・要望

### 社会の多様化と若者の自治会参加



自治会への参加が基本的に「世帯」単位のため、三世代世帯の減少によって、親から「代わりに行ってこい」との世代交代もなく、若者の地域参加の機会が失われていることは事実でしょう。また、若者にしてみても「自治会活動」がどういったものかも知らずに、全く見ず知らずの環境に入っていくことは難しく、負担が増えることや人間関係への不安は少なからずあると思われます。

自治会の在り方も変化しつつ存続してきたものなので、少しずつ自治会も「変化していくこと」が今後存続していくために大切なのではないのでしょうか？

## 楽しく子育て！

当協議会は15日千厩小羊幼稚園の共催により、小野寺里子さん(NPO法人子育て支援いっすね代表)の家庭教育講演会を開催しました。

当日は、子育て中の父母60人が集まり、子育てで抱え込みがちなことへのアドバイス、楽しんで子育てをするためのノウハウなどに耳を傾けていました。一人で悩んでしまいがちなことだからこそ、地域や周りで助け合える環境をつくっていくことが今、必要になっています。



「楽しく子育て！」のテーマで講演する小野寺さん

## 身近なところに危険あり！

今年度の地域づくり事業として「まちづくりセミナー」を当協議会と各自治会の共催で開催しています。

このうち、松ノ木沢自治会では17日、「安心安全ミーティング」を実施。講師は千厩警察署員。参加した35人は、管内の交通事故の状況や特殊詐欺などの事件が身近で起こっていることを聞き、常日頃からの注意、心構えの大切さを感じ取っていました。

なお、次回セミナーは小田梅田自治会で「健康長寿ミーティング」を予定しています。近隣の方はお誘い合わせの上でご来場ください。



熱心に聞き入る松ノ木沢自治会員



参加者へ注意喚起をする講師（生活安全課長 菅波さん）

